

主催：神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科

実践交流フォーラム

地域共生社会と社会福祉の実践

～ 社会福祉のイノベーションに向けて ～

6月4日（土）オンライン開催 無料

日時：2022年6月4日（土）14時00分～16時30分

会場：オンライン

申し込み：5月31日（火）〆切 県立保健福祉大学 HP の申込みフォームから参加登録 (https://www.kuhs.ac.jp/news/details_01320.html)

対象：高校生、大学生、福祉のまちづくりに関心のある方、保健福祉関係者ほか

<プログラム>

開会のあいさつ（14：00）

高橋恭子（社会福祉学科長）

I. 基調講演（14:05～14:20）

「地域共生社会・イノベーションと本学のミッション」

大谷泰夫（理事長）

II. 報告「地域共生社会と社会福祉に関する本学の取り組み」（14:20-14:50）

1. 「社会福祉学科共同研究書『地域共生社会と社会福祉』について」

西村淳（社会福祉学科教授）

2. 「神奈川県と県立大学の協力による地域の障害者相談支援体制」

松浦俊之（前神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害福祉課副主幹）

III. 地域共生社会と社会福祉に関する実践報告（14:50-16:25）

1. 「行政における総合相談—「ほっとかん」の取り組み」藤崎啓造（横須賀市地域福祉課長）

2. 「地域の生活課題と住民福祉活動」

鈴木恵子（認定NPO法人すずの会理事長）

3. 「住民による福祉活動とその支援」

加藤絵里（茅ヶ崎社会福祉協議会次長補佐）

4. 「重度障害者の地域生活移行支援」

小野達也（訪問の家 PAC 相談支援専門員）

まとめと質疑

中村美安子（社会福祉学科教授）

コメントと閉会のあいさつ

中村丁次（学長）